

## 西部地域スポーツ施設 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月7日(月) 13:30~17:20
- 2 場 所 ミクニワールドスタジアム北九州 会議室5
- 3 出席者 (検討会構成員) 植田構成員、河邊構成員、則松構成員、南構成員  
(事務局) 都市ブランド創造局 スポーツ振興課  
スポーツ施設担当課長、施設管理係長、担当職員
- 4 会議内容
  - 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明
  - 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
  - 構成員の互選により、座長を選出
  - 応募団体(北九州市スポーツ協会)より提案概要に関してプレゼンテーション及び質疑応答
    - (構成員) 年間利用者数について、令和11年度の目標は85万人としているが、人口が減っていく中で実現可能な目標なのか。
    - (応募団体) 目標設定について、コロナウイルスの影響で令和2年度に利用者数が減ったが、コロナ禍前には100万人以上の利用者がいたため、実現可能な数字としてこの目標を挙げている。
    - (構成員) SNSを利用した情報発信について、SNSとは何を利用する予定なのか。また、どの年代をターゲットとしているのか。
    - (応募団体) X(旧Twitter)とインスタグラムを利用する。若い世代の方々に向けて発信していきたい。最近、GALAin北九州という、北九州市に体操のメダリストが集まったイベントがあったが、スポーツ協会としても、もっと発信できれば観客数を増やせたのではないかと考えている。
    - (構成員) 今後も人件費等の高騰が予想されるが、提案の予算書について、人件費と委託費がほぼ横ばいとなっている点、修繕費が前年度5000万円に対して3000万円に減少している点について、どのような根拠があるのか。
    - (応募団体) 人件費については、時給等の高騰分も考慮した上で、社会保険労務士からの見積りを根拠に積算している。修繕費については、コロナウイルスの影響で休館が続いた時期に集中して大規模な修繕を行ったため、修繕予算を減じている。
    - (構成員) 正規職員は1人のみで、他は全員嘱託職員ということだが、経営

の安定性についてはどう考えるか。

(応募団体) 嘱託職員は1年ごとの更新としている。5年間の指定管理期間が終了し、再度指定管理者となれなかった場合には仕事がなくなること前提としているため、こういった雇用形態としている。

(構成員) マニュアルについての周知、学びはどのようにしていくのか。

(応募団体) マニュアルは各管理事務所に置いてある。職員研修も行い、事案が発生する都度、マニュアルを確認しながら対応することを周知徹底している。また、マニュアルは随時見直しを行い、時代に即したものに変わっていくようにしている。

(構成員) ひびきコスモス運動場等、新たに指定管理施設が加わることになるが、追加となった施設について、どのように適切な指定管理業務を行っていくのか。

(応募団体) 具体的にどう管理するのかは、まだ決定していないが、職員に関しては、追加施設で現在従事している方を継続雇用する予定であり、出来るだけ今までどおりの運営をしていく方針である。正式に決定したわけではないため引き続き検討していくが、適切な管理運営は可能である。

(構成員) 追加となる施設について、有効活用、維持管理の効率化等の観点から、相乗効果等が見込まれるか。

(応募団体) いままでどおりの運営を行っていくという方針以外は、まだ決まっていないため、有効活用等についても今後検討していく。

(構成員) 70歳定年制を検討しているということだが、若手人材、次世代の育成についてどう考えているか。

(応募団体) 若い人材を新たに雇用するには至っていないのが現実である。課題として認識しており、賃金面等も考慮して組織の若返りを検討する必要がある。

- 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。
- 審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について

## 協議

- (構成員) 総合体育館以外の施設の話がほとんどなかった。また、次世代人材がないということへの不安感があるが、これまでの実績については評価できる。
- (構成員) 安定的な指定管理業務の実施には期待できる提案になっているが、新たな指定管理施設の構成等に対する積極的な提案に関しては欠く内容であった。安定的な管理運営に期待したい。
- (構成員) 指定管理期間終了後に仕事がなくなる可能性を前提として職員を雇用し運営を行うと、企業風土として尻すぼみな考えしか表れないと思われるため、そこは改善すべきだと思う。一方で高齢者がいきいきと働く場所を提供するという点に関しては評価できる。  
マニュアルは、相互に勉強しあってはじめて生きるものだと思う。何かがあったときに慌てて開いているようでは活きているマニュアルにはならない。社員教育として学びあう場を持つべきであり、安定はしているが、発展は感じられなかった。
- (構成員) 保守的な提案であると感じた。

○ 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。